http://www.minamih.net/
１５・　５・３０（土）
南ＮＥＷＳ　　ＮＯ１８

東京都 U12 第 16 ブロックリーグ(前期)

5/6　東加平小（足立区）

○テーマ 第一 DF を決め素早いアプローチを行い奪いに行く/相手陣内ではかわされても構わないので奪い切りに行く/自陣では簡単に抜かれない・かわされない/他の選手のカバーもしっかり

●南八王子　０－４　府中なでしこ　（前半０－１）

南が所属する B グル-プの中でも実力上位のチームが府中なでしこさんと対戦です。ディフェンス面で第一 DF が早いアプローチでボールを奪いに行く、カバーリングもしっかり行うことをめやすにのぞみました。

前半いい戦いぶりでした。第一 DF の鋭いアプローチ、他の選手のカバーリングや中盤の鈴木さんや小沢さんら複数選手でのドッチングがよくできていて、試合は五分の展開で進んでいきました。1 対 1 で負けない、パスカットも何度もみられました。

危ない場面もGKの榎本さんが防いでくれました。前半残りわずかの所で、ゴールキックをカットされて失点してしまいました。

後半、継続してよい守備をすることで、奪ったボールを攻撃につなげチャンスもありましたが、クリアを拾われミドルシュートを決められるなど3失点し、0-4で敗れました。

良くなった守備面に比べ、攻撃でもう少しボールを個人・チームでキープし突破することができれば更に拮抗した試合ができたと思います。いい守備を継続しつつ、攻撃のレベルアップを図りましょう。　　ｂｙ加藤コーチ

○テーマ 第一DFを決め素早いアプローチを行い奪いに行く/相手陣内ではかわされても構わないので奪い切りに行く/自陣では簡単に抜かれない・かわされない/他の選手のカバーもしっかり

△南八王子　１－１　はやぶさ　（前半１－１）得点者 榎本さん

前半1分自陣ゴール前でパスカットした加藤さんが中央をドリブル突破して相手ゴール前まで行きますが、シュート直前でディフェンスにクリアされてしまいました。4分相手ゴールキーパーのパントキックが直接ゴールに入り先制点を奪われます。しかし、8分にはゴールキーパー榎本さんが見事なパントキックでゴールを奪い返します。

浮き球に課題を持つチームですが、原さんや種子田さんがヘディングで跳ね返すシーンが見られました。13分、小沢さんの蹴ったコーナーを4年生の石橋さんがシュート。わずかに枠から外れゴールにはなりませんでしたが、惜しいシュートでした。

後半3分、カウンターを受けてピンチとなりましたが、榎本さんが果敢に前に出てカバーし事なきを得ました。この試合センターバックに入った原さんは技術が高く、ボールを持つと攻め上がることができ、チャンスを作っていました。後半はお互いに得点を奪えず、1-1の引き分けでした。

1試合目に比べて、アプローチが遅くなってしまいました。この時期にしては非常に暑くて、コンディションの影響があったと思います。次回の試合では早いアプローチで厳しくディフェンスするよかった部分は、ぜひ続けていきましょう。　ｂｙ加藤コーチ

5/10　旧北貝取小（多摩市）

○テーマ 第一DFを決め素早いアプローチを行い奪いに行く/相手陣内ではかわされても構わないので奪い切りに行く/自陣では簡単に抜かれない・かわされない/他の選手のカバーもしっかり

○南八王子　１－０　シルクロード　（前半１－１）
得点者 榎本さん

前半から鈴木さん、沢田さん、小沢さんが何度もシュートをしますが、なかなか得点になりませんでしたが、後半に鈴木さんからのパスを沢田さんが少し前にに出できたところを上手くボールを浮かし、キーパーの上を通過しゴール！

この試合では、シュートを何度も打てましたが、なかなか得点になってないので、ボールをどうやってゴールの枠の中に入れるか少し考えてみて下さい。ゴールから遠かったり、不十分な体勢からのシュートだったりしてませんか？

守備面では、サイドの内田さんは足が早いですね！

ピンチの場面でも早い足を活かして、サイドを封じてくれました。

他の選手も最後まで相手に走り負けする事なく頑張ってました。

ｂｙ種子田コーチ

○テーマ 速いアプローチ、ディレイ、攻守の速い切り替え

△南八王子　０－０　ブルーピューマ　（前半０－０）

本大会初勝利に続き、2連勝をめざす対戦相手は、このグループで2位に位置している強いチームでした。相手の中央にはボールキープ力が高いだけでなく視野も広いゲームメーカ役と、トップには突破力のある大柄で足の速い二人の要注意選手がいました。試合前のテーマは、ボールを保持した相手に考える余裕を与えないように、速いアプローチをかけることと、1対1の場面では飛び込まずにまず遅らせる前プレーをさせること。ボールを保持した相手に考える余裕を与えないように、速いアプローチをかけることと、1対1の場面では飛び込まずにまず遅らせる前プレーをさせることでした。

ボールをクブにはプレッシャーをかけること半のかサも相手ボールをかけること。